

事業所名

ぶるーむ千間台

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7 年

2 月

14 日

法人（事業所）理念		「あったかい居場所になるように」常に清潔を意識し、身体的・精神的に過ごしやすい雰囲気と空間を提供します。安定した心をそのままに、ご家庭に、学校にバトンを繋ぎます。「新しい好きや嫌いを見逃さない」芽吹くスキルは見逃さず、新しい未来の自分へと昇華させられるよう支援します。新しい「できた!」の実感を大切にします。「子どもの主体性を伸ばす」やらされることをやるのではなく、自ら考え動けるように。自分の考えや気持ち、したいことを素直に言える環境作りをしていきます。											
支援方針		下記5領域を含め諸活動を通して、言語・コミュニケーションスキルを身に付け、感情や行動を自身でコントロールできるように、また、体の使い方を学ぶことにより身体可動域を増やし、元気に楽しく学び過ごしながら、社会へと羽ばたいていくためのルールやマナーを学びます。											
営業時間		平日	11	時	30	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善・基本的な生活スキルの習得ならびに生活リズム形成の支援方法を考えます。食においては「生きることは食べること」とし食事への配慮(感覚)支援(姿勢保持・嚥下や咀嚼)します。遊びの中や日常での学習機会を利用した支援、環境・状況に配慮を工夫します。年齢が上がるにつれ、身体にも変化が起き、心に起きる葛藤が難しくなります。頭ではどうするべきかわかっているけどプライドや不安など、複雑な気持ちに混乱して行動に移せなかったり、逆に極端な行動に至ってしまったりします。そんな気持ちに“名前をつける”“段階をつける”“絵にして表してみる”など、感情を客観視してコントロールする方法を身に付けていきます。											
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感に着目し、様々な体の感覚・感触に触れる機会を増やし、成長を促します。体の感覚は力加減や動きをコントロールするだけでなく、気持ちやテンションのコントロールにも役立ちます。また、緊張や弛緩などをコントロールし、心と体の連動や感覚・感触の向上と成長を促します。											
	認知・行動	”着席””大人をよく見る””話を聞く””嫌なことも頑張ってみる”等、課題に向かう際の学習の姿勢を支援します。「頑張ってたよ!」と感じるような関わり方や内容を工夫します。また、情報を適切に処理できるよう、コミュニケーションの難しさから生ずる行動の予防方法を一緒に考えます。また、何も無い自由時間や暇な時間を辛く感じるお子さんもいます。待つ時間や空いた時間の使い方、余暇の過ごし方を一緒に考えていきます。											
	言語 コミュニケーション	プリントなどの課題、自己紹介や振り返りでの発表、小集団における遊びの場面設定をします。”要求””報告””聞く””模倣””観察”など、自分も、周りも大切にすることを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカード等、ひとりひとりに合う方法を一緒に考えます。暴力や暴言など社会的には不適切とされるような行動も子どもにとっての何らかの問題に”対処している行動”と捉えることも出来ます。どんな問題に直面し、対処しようとしているのか丁寧に観察しながらも社会的にもその状況に合う適切な行動を考え共有し、本人に合わせたものへと工夫し、支援します。											
	人間関係 社会性	SST(ソーシャルスキルトレーニング)の習得を目指します。ソーシャルスキルの経験から「やってよかった」「楽しい」と感じるなど、良い経験になるよう設定や伝え方を考えています。集団での活動やお友だちとの関わり方を通して実践的に学びを身に付けます。”挨拶””ルール””マナー””礼儀””感謝””謝罪”など社会生活で大事にされているスキルを身に付けます。また、”友人””上下””利害””同盟””協力””対立”など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるよう、一緒に考えます。											
家族支援		親子間やきょうだい間の困りごとに対する助言やサポートをします。必要に応じてスタッフとの個別面談を行います。ご家庭の状況に応じて利用日や利用時間の調整・延長サービスを行います。						移行支援		学校や関係機関と支援内容等の共有を行うなど、今までの支援方法もお知らせしながら、将来的な移行に向けて協力や連携をします。ライフステージの切り替えを見据えて、家庭と事業所以外の生活を考え、相談援助や移行の準備を支援します。			
地域支援・地域連携		地域のゴミ拾い、公園遊び、近隣スーパー等での買い物、近隣大学等のボランティアの受け入れ、その他地域活動の実施により新しい関わりを生む機会を作り、利用児童の将来に向けて”地域との繋がり”を意識した支援を行います。						職員の質の向上		外部研修の受講や事業所内研修を実施し、スタッフの専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。(年/12回・社員MTG, 全体MTG)			
主な行事等		土曜・祝日・長期休みなどの食育プログラム 2~3ヵ月毎の遠足・または室外活動(児童館や動物園その他娯楽施設, 等) 季節のイベント、初詣、節分、お花見、フットサル、果物狩り、七夕、水上アスレチック、BLOOM縁日、ハロウィンパーティ、クリスマス会 等(年12回/避難訓練・誕生日会も)											